

「年金業務・組織再生会議」のヒアリングについて

2008年1月23日

全厚生労働組合

1. 社会保険庁改革等について

(1) 社会保険庁改革について

① 社会保険庁改革の背景等について

- ア 相次ぐ年金制度の改革
- イ 相次ぐ社会保険庁の不祥事
- ウ 地方事務官制度問題
- エ 社会保険庁の管理責任

② 社会保険庁改革に対する全厚生の基本的立場について

- ア 行政への監視と行政運営に対する提言活動の弱さを反省
- イ 国の責任による社会保障制度の拡充
- ウ 国の機関による業務運営
- エ 安易な民間委託には反対
- オ 行政サービスの向上と労働条件の改善

(2) 年金記録問題について

① 年金記録問題の背景等について

- ア 制度ごとに管理・運営されていた公的年金
- イ 歴史的・複合的な要因
- ウ 機械化に伴う諸問題
- エ 自治労国費評議会の「反合理化」と「身分移管闘争」

② 記録問題に対する全厚生の基本的立場について

- ア 国民の年金権確保と行政の民主化に対する取組みの弱さを反省
- イ 全額国庫負担による最低保障年金制度の創設
- ウ 国の責任による記録の早期整備
- エ 相談・照会など業務体制の確立
- オ 期間や報酬など加入内容の恒常的通知システムの確立

## 2. 「職員の採用についての基本的な考え方」について

### (1) 新組織への職員採用について

- ① 知識・経験を有する職員の採用を
- ② 二重処罰は行うべきではない

### (2) 「勤務実績の評価」について

- ① 本格実施が導入されたばかり
- ② 年金記録問題との関係等から本来の評価制度にはなっていない
- ③ すべてが相対評価
- ④ 人材育成に活用を

## 3. 「外部委託の推進についての基本的な考え方」について

### (1) 外部委託に当たっての検討課題について

- ① 外部委託の歴史的検証を
- ② 専門性・継続性が求められる公的年金業務
- ③ 長期間の記録・保険料等の管理が基本
- ④ 個人情報管理対策

### (2) 外部委託に対する全厚生の基本的な考え方について

- ① 大量・定型的な業務を中心に、安易な外部委託には反対
- ② 個人情報の保護・管理を徹底
- ③ 専門性・継続性の確保と人材育成

## 4. 国民の信頼回復に向けて

- (1) 国民が安心できる年金制度と業務執行体制の確立
- (2) 国民の視点に立った行政運営
- (3) 安心して職務に精励できる職場環境を
- (4) 分限免職は行わず雇用確保を

## 全厚生労働組合の組織概要

### ○組織の結成

- 1946年4月20日 「厚生省職員組合」  
厚生本省、試験研究機関を中心に組織
- 1962年5月 「全厚生職員労働組合」に名称変更

### ○社会保険における組合結成と全厚生加入

- 1957年 保険局年金業務室（現社会保険業務センター）
- 1966年 香川県（65年に組合結成）、岐阜県
- 1967年 愛媛県、秋田県
- 1968年 愛知県
- 1969年 大分県（国民年金関係＝後に脱退）
- 1971年 岩手県（67年に組合結成＝後に脱退）
- 1991年 静岡県（静岡県職労から一部全厚生へ）
- 1995年 京都府（京都府職労から全厚生へ）  
神奈川県（神奈川県職労から全厚生へ）
- 1997年 滋賀県（滋賀県職労から一部全厚生へ）
- 1999年 大阪府（大阪府職労から一部全厚生へ）
- 2000年 大分県（自治労から一部全厚生へ）
- 2007年 兵庫県（自治労から一部全厚生へ）

### ○全厚生の組織構成（現在）

- 本省庁関係（本省支部、統計情報支部）
- 研究機関関係（国立保健医療科学院支部、国立社会保障・人口問題研究所支部）  
（国立感染症研究所支部、国立医薬品食品衛生研究所支部）
- 独立行政法人関係（国立健康・栄養研究所支部、医薬基盤研究所支部）
- 社会福祉施設関係（国立身体障害者リハビリテーションセンター支部）  
（函館・塩原・神戸・福岡国立視力障害センター各支部）  
（伊東・別府国立重度障害者センター各支部）
- 社会保険関係（社会保険業務センター、秋田県、神奈川県、静岡県（一部）、  
愛知県、岐阜県、京都、滋賀県（一部）、大阪（一部）、  
兵庫県（一部）、香川県、愛媛県、大分県（一部）各支部）

### ○上部団体及び共闘組織

- 上部組織 国家公務員労働組合連合会（略称「国公労連」）
- 共闘組織 厚生省労働組合共闘会議（全厚生と全日本国立医療労働組合）

# 社会保険行政の民主化と行政サービスの確立に向けて

## 庁改革に対する全厚生の主張と要求

社会保険庁の「解体的改革」が叫ばれている今、私たちは、国民全体の奉仕者である公務員労働者として、国民の視点での行政サービス向上に全力で取り組んでいくことが、生きがい・働きがいある職場づくりや労働条件の改善につながるものと確信します。こうした視点から、改めて私たちの職場・仕事を見つめ直し、この改革が真に国民のために、そして生きがい・働きがいある社会保険職場の実現のためになることを目指し、組合員の皆さんの積極的な討議をお願いします。

職場討議資料  
ダイジェスト版  
全厚生労働組合  
2004年11月

### 庁改革の背景

#### 相次ぐ社会保障制度の改悪

○国民の政府に対する要望調査結果では、社会保障制度の改革が最も多く、98年以来トップだった景気対策を逆転したことが明らかにされました。若干、景気回復基調といわれる今日の中でも、健保や年金など命と暮らしに関する制度には多くの国民が不信と不安を募らせている実態が浮き彫りになりました。先に強行成立させられた年金制度には、8割を超える国民が実施に反対しています。

#### 保険料の目的外使用、贈収賄事件などへの批判

○社会保険庁を巡る様々な問題が取り上げられました。グリーンピアの莫大な赤字から始まった年金関連施設の赤字問題、使用頻度の低い事務機器の導入や特定業者との癒着、多額の監修料と随意契約の不透明さ、そして、あまりにも多額な保険料の事務費等への転嫁。グリーンピアの半数が歴代厚生大臣の地元で建設されていることや本来の一般財源で措置されるべき事務費が財政難を理由に保険料に転嫁されてきたことなど国の政策、政治の絡みがあるとはいえず、国民の目線から見ると問題のあることは事実です。

職が逮捕されるといふ最悪の事態となりました。日々国民の激しい怒りに接している現場の立場からは到底許されることではありません。

#### 行政サービス上の諸問題

○医療費が3割負担となり、高額医療費制度があつても、国民が請求をしなければ何の保障も受けられない。簡単にできる現物給付制度も、患者に一部負担額を一旦負担させるなど給付抑制の意図が露骨に現れています。

大変な思いをしなから収めた年金も自ら確認しないと期間も報酬もわからない。請求しないともらえない。また、年金請求に行っても4〜5時間も待たされる都市部の異常な実態、こうした制度上と行政サービスの後進性が、年金制度改悪や議員の未納問題などと相ま

て、国民の社会保険庁批判となつて噴出したのではないのでしょうか。

#### 深刻な年金制度空洞化の進行

○制度に対する不信や不安が空洞化の最大の要因ですが、同時に、不十分な都市部対策や収納率の追求に汲々としてきた社会保険庁自身の責任も否定できません。70年代以降、人口の都市部集中、産業の流動化が進んだにも拘わらず、こうした都市部に対する根本的な対策を怠つたことなども都市住民の未納・未加入に拍車をかけた要因でもあります。

さらに、強制適用とは名ばかりの法人事業所の適用実態についても、様々な批判と問題が指摘されています。法の精神に基づいて労働者の権利を擁護する立場からの対応が求められます。また、日本

企業の9割を占める中小企業等に対する一定の納付支援策などの必要性も指摘されています。

#### 自治労国費評議会と社会保険庁の癒着

○社会保険職場の多数を構成する労働組合・自治労国費評議会の最大の特徴は、国民不在、機械的、一面的な運動路線をとり続けていることにあります。自らの労働条件確保のためには国民要求を省みない基本姿勢が常にあり、年金制度改悪問題とも相まって国民的な批判の元となりました。

一方、社会保険庁は、こうした自治労の方針を利用し、退職後の第二の職場など自らの利権づくりを進めてきました。また、自治労国費評議会の幹部にも第二の職場を保障するなど表面的な対立関係とは裏腹に、癒着の構図が横たわっていました。

# 庁改革の狙い

社会保険庁の改革は、そもそも大きな社会問題になった年金未納問題から始まり、社会保険庁がまとめた「改革素案」に与党年金制度改革協議会が難色をまし、坂口厚生労働大臣が私案を公表してきた経緯があります。この動きに政府、財界が社会保障改悪と一体でさらなる改革に乗り出しています。

## 1 社会保障に対する国の責任縮小と企業の負担軽減

○財界・大企業奉仕の公共事業、アメリカ追随の軍事費拡大予算のために借金を積み重ねてきた自民政権は、財政再建を強調する小泉内閣になってからも毎年30兆円を超える国債を発行し続け、その残高はついに730兆円という異常な事態になっています。

○また、一部の大企業が史上最高の利益を挙げているにもかかわらず、飽くなき利潤追求に走る財界は、社会保障に対する企業負担の縮小・廃止を求め様々な画策を行っています。二大政党制の推進や消費税増税による年金制度の更なる改悪攻撃もその一端であり、まさに社会保障の解体が狙われています。

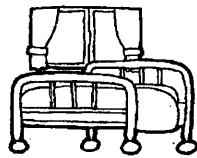
こうした危機的な国家財政の中でも政府・自民党は、大企業やアメリカの利益は保障しつつ、社会保障など国民生活部門への国の負担を極力少なくするために、福祉、年金、医療、教育、介護などあらゆる分野への収奪路線を強行する社会保障構造改革を推し進めています。先の医療保険制度の改悪に続く年金制度の大改悪も、また社会保険庁改革も一体のものとして捉える必要が

## 2 公務の民間開放

○政府の諮問機関として設置されている「規制改革・民間開放推進会議」は、公務の民間開放を主要な議題とし、すべての公務部門について民間開放の対象として検討に入りました。過去には、労働保険

や職業紹介業務などの民営化がクローズアップされていますが、国税・地方税の徴収、年金関連業務、登記、自動車登録、統計業務、航空管制など従来は「公権力の行使」「高度な守秘義務」「中立性」等から困難であるとされていた部門も含まれ、基本的にはすべてが民間開放の対象とされています。

の実態が国民的な批判を浴びたことから、市場化テストの第一号としていきたいとの思惑も指摘されています。消費税増税による企業の社会保障負担の軽減と同様に、公務も営利業務に取り込み、利潤の対象にしようとする企業の飽くなき狙いが根底にあります。



○社会保険庁の解体的出直し論が、政府・財界、マスコミ等から連日出され、独立行政法人化や民営化が強調されています。しかし、独立行政法人化や民営化は、コストを抑えサービスを向上させるといいますが、真の狙いは、制度の切り捨てによる社会保障費の削減であり、職員の労働条件の大幅な切り下

## 3 社会保障制度運営形態の抜本的改悪

げもセットになっています。また、当然のごとく大幅な合理化、定員削減も狙い上げることには明らかです。



### 市場化テスト（官民競争入札） 「民間開放」って何？

政府の諮問機関として設置されている「規制改革・民間開放推進会議」は、官製市場の民間開放を主要な議題とし、すべての公務部門について民間開放の対象として検討に入りました。過去には、労働保険や職業紹介業務などの民営化がクローズアップされていましたが、国税・地方税の徴収、年金業務、登記、自動車登録、統計業務、航空管制など従来は「公権力の行使」「高度な守秘義務」「中立性」等から困難であるとされていた部門も含まれ、基本的にはすべてが市場・競争原理の対象とされています。

### 「社会保険庁の在り方に関する有識者会議」名簿

- 朝倉 敏夫 (読売新聞論説委員長)
- 渥美 雅子 (弁護士)
- 大熊 由紀子 (国際医療福祉大学大学院教授)
- 大山 永昭 (東京工業大学教授)
- 金子 晃 (慶応義塾大学名誉教授)
- 草野 忠義 (日本労働組合総連合会事務局長)
- 松浦 稔明 (坂出市長)
- 矢野 弘典 (日本経済団体連合会専務理事)

[政府側]  
内閣官房長官  
厚生労働大臣

# 1 社会保障制度に対する 国の責任の明確化を求めます

○小泉内閣による社会保障の連続改悪が国民生活を圧迫しています。

失業や生活困難を個人の責任とし、「自立・自助」「自己責任」を強調することで、社会保障への国の責任を国民に転嫁しようとする路線が益々強まっています。さらに、規制改革・民営化の流れも加速され、公務部門への民間参入を狙った市場化テストも粗上りするなど、市場万能主義、弱肉強食の世界が社会保障制度にも襲いかかっています。

## 私たちの主張



(官民競争入札)の実施を打ち出し、来年度実施に向けた対象事業の選定を行っています。現在検討されている事項に社会保障関連業務などがあげられています。

私たちはこうした流れには断固反対します。社会保障の本質は、所得の再配分にあり、高所得者に集中する所得を低所得者へ分配しなおすことが基本です。そのためには、国の責任を明確にした制度とその運営が求められることはいくらでもありません。

## 2 市場化 テストに 反対します

○政府の諮問機関である「規制改革・民間開放推進会議」は、官が提供しているサービスを同種のサービスを提供する民間事業者が存在する場合、官と民間で競争入札を実施し、価格やサービスの点で優れたものが落札し業務を行うための制度として「市場化テスト」

こうした動きは今後あらゆる公務部門に及ぶことは明らかで、その狙いは、民間企業へのビジネスチャンスの拡大であり、企業の利潤の追求です。常に利潤を追求する民間企業が行った場合、過酷な競争と成果主義の導入・強化は目に見えています。

国民の命と暮らしを守るために憲法第25条の生存権を基に制度化された社会保障制度の運営に、こうした手法が導入された場合、当然のごとく制度の更なる切捨てと職員の労働条件の後退につながることは明らかです。私達はこうした流れには断固反対します。

# 3 国の機関が直接責任を 持つて行うことを求めます

○「社会保険庁のあり方に関する有識者会議」では、独立行政法人化や民営化なども含めた社会保険庁の組織のあり方についても議論が進められています。

この間、多くの国の機関や公団・特殊法人等が独立行政法人化させられました。最近では国立病院が最大の組織として発足しています。これらの経過や現状を見てもその最大の狙いは、効率的運営という名によるリストラ・合理化であり、労働条件の切り下げです。

小泉「構造改革」は、社会保障の各制度を一体的に見直す社会保障「構造改革」をすすめています。この改革の究極的なねらいは、社会保険の民営化路線です。本来、国の行政機関は、国民の基本的人権を保障する責務を担っています。独

# 4 真の行政サービスの向上と 労働条件の確保を求めます

立行政法人化や民営化は、厚生労働行政、社会保険行政を安定して継続して遂行する方向に逆行し、国が果たすべき役割や責任を放棄するものです。独立行政法人や民営化の検討をすすめる社会保険庁改革は、社会保障、社会保険行政の切り捨て政策と一体であることが特徴です。

民営化の最大の狙いは、利潤の追求であり、国民の日々の安心と老後の生活を保障する社会保険制度に民営化は馴染まないばかりかあつてはならないことと考えます。

私達は、こうした制度・行政の切捨て路線には与せず、国の機関として社会保険庁がその任にあたり、同時に国民の立場に立った真の社会保険庁改革が実現するために奮闘します。

○都市部を中心とする異常な混雑、様々な権利を行使するにも主体性が求められる実態など行政サービスの向上が問題点として指摘されています。社会保険庁が示した緊急対応プログラムには、私たちがかねてから指摘してきた改善を求めてきた項目なども多く含まれています。体系的・計画的な実施と同時に、具体的実施に当たっては、必要な要員の確保や予算措置、そして十分な協議と条件整備、労働条件の確保を求めます。

夜間・休日における年金相談業務については「行政需要を考えない全国一律の夜間・休日の年金相談延長は問題」などの声が出されています。

私達は、①真の行政サービスの向上のために系統的なサービスの体制の確立

が必要であり、平常時間内での相談・サービス体制の確保が基本であること

②相談等の集中期及び団塊の世代対策等抜本的な対策が求められること

などを要求しながら、実施に当たっては、十分な体制の確保と必要な予算措置、そして代休の保障等を求めていく必要があると考えます

### 学習会の開催

日程	04年12月23日
場所	お茶の水・ホテル聚楽
内容	「市場化テスト・庁改革の狙い」(仮称) 積極的な参加をお願いします

## 5 全額国庫負担（一般財源）による 最低保障年金制度の創設を求めます

○年金制度の相次ぐ改悪は、給付水準の引き下げと大幅な負担増をもたらし、高齢者や若年層も含めた圧倒的多数の国民に制度不信と将来不安を増長させています。制度への未加入・未納・免除者が4割を超えるような国民年金制度、また、低迷する経済情勢のなかで重い保険料負担なども影響し4割の法人が未加入といわれている厚生年金、こうした空洞化の進行が社会保険制度の根幹をゆるがしています。また、世界に例を見ない長期の受

## 私たちの主張

給資格要件や、多額の積立金と非民主的な運用実態などが制度不信に拍車をかけた本格的な改善を求める声も益々強くなっています。

予想を上回る少子・高齢社会の到来と経済の長期低迷が続き、制度の安定的な維持・運営のためには全額国庫負担による最低保障年金制度の創設が具体的な課題として労組・民主団体等から指摘されています。

内閣総理大臣の諮問機関であった「社会保障制度審議会」が、1950年に出した「社会保障制度に関する勧告」では憲法第25条に基づき社会保障制度として「無拠出年金制度」を提案しています。さらに基礎年金制度の発足にむけた84年の答申では、「特殊な年金税をもって『基本年金』の財政基盤を固め、各年金

はこれを控除したものをこの上に載せようとするものである。」と述べるなど早くから制度の本格的見直しが必要であること指摘しています。今まさにこうした原点にたつた制度改革が求められます。

深刻化する年金制度の劣悪な現状を抜本的に打開するため、そしてみんなが安心する制度を実現するために全額国庫負担（一般財源）による最低保障年金制度を創設し、その上にそれぞれの掛け金に応じて給付を上乗せする新たな制度体系を構築する必要があります。



### 市場化テスト、今後の予定

1. 11月上旬～12月中旬各府省公開ヒアリング
2. 12月中旬 規制改革・民間開放推進会議 答申
  - ①具体的な「モデル事業」の対象事業の在り方
  - ②関連する規制改革及び競争条件均一化措置の在り方
  - ③「モデル事業ガイドライン」
3. 「市場化テスト」の全面導入（平成18年度）
  - ①「市場化テスト法（仮称）」の骨子
  - ②「市場化テスト」の推進母体の在り方 など
4. 来年
  - 「モデル事業」に関する官民競争入札の実施
  - 「市場化テスト法（仮称）」の整備
  - 「市場化テスト」の推進母体の整備

### 民間提案の例（社会保険関係）

- 社会保険事務所が実施している原則すべての事業を、既に民間債権の回収等での知見・ノウハウを有する民間事業者が、「公設民営方式」で一括して実施したいとする提案。（㈱山田債権回収管理総合事務所・㈱東京リーガルマインド）
- 国民年金保険料の徴収率アップを図るため、社会保険庁が実施している国民年金保険料の徴収を、既に民間債権の回収等での知見・ノウハウを有する民間事業者が実施したいとする提案。（㈱日本債権回収、㈱東京債権回収、㈱三洋信販債権回収）

全厚生は、憲法第25条を守る運動を広げ、国民の基本的人権の保障と福利の向上を実現するために積極的な運動を展開します  
全厚生労働組合に加入しましょう！

<http://www.kokko-net.org/zenkousei/>  
問い合わせ 03(3501)4881

### ☆組合員の学習・たたかいの意志統一

- 本部主催学習会の取り組み
- 全職場で学習と討議の取り組み
- 本部オルグを系統的に実施

### ☆政府・厚生労働省・社会保険庁への責任追及

- 市場化テスト、独立行政法人化、民営化に反対する要求署名・申し入れ行動の取り組み
- 大臣交渉・社会保険庁交渉の実施

### ☆諸団体との共同・国民的運動の構築

- 関係団体等との意見交換を取り組み
- シンポジウムの開催  
05年2月大阪予定  
「国民本位の年金制度と真の社会保険庁改革を目指す」シンポジウム（仮称）





資料② PCS用カードの一例



膨大な記録の中で破綻したパンチカードシステム

年金業務室での機械処理に当たっては、昭和32年7月1日以降の被保険者を基本に、各社会保険事務所からそのついで送付されてきた各種届出書について、統計会計機械組織により、必要な記録をパンチカードに穿孔して台帳カード(資料②)をついて1枚作成することから、台帳カードは膨大なものとなり、被保険者が約1000万人であった

昭和36年で約6500万枚に及んでいます。また、作成された台帳カードは、各種機械によって配列・抽出などが行われましたが、極めて煩雑な作業の繰り返しであったことが指摘されています。

こうした膨大な年金記録の整備は、誤り・重複・欠損の原因を積み重ねてきたことを、今日改めて明らかに先、だんだん顕在化

氏名(資格喪失者)については社保庁が独自にカナ変換

こうした経過の中で、電子計算機の発達で急速に進んだこと、年金裁定支払いのために4則備算機械の導入が指摘されることになり、昭和37年にIBM電子計算組織が導入され、さん孔紙テープを入力媒体(資料④)とした磁気テープ収録方式に切り替えられました。しかし、漢字氏名の入力には昭和54年まで数字符号化方式が続けられ、また、パンチカードシステムにのり作成された台帳カードも順次磁気テープに収録され、それまで個人と個人をバラバラに管理されていた被保険者記録が、初めて統合(原簿テープ)されることになりました。

一部しか磁気テープ化されなかった旧台帳

社会保険事務所から移された旧台帳は、紙台帳のまま別途管理されています。

資料③昭和35年から始まった原票方式

漢字の姓及び名単位に一般的に読み方に交換する「漢字カナ変換辞書」を提出し、カナ氏名(漢字換え)によりカナ氏名を収録しましたが、資格喪失者については、正確な読み方を確認する手立てがなく、社会保険庁が

統一による膨大な事故記録の発生

紙台帳、パンチカードシステムによる台帳カード化された個人個人の記録を歴史的な相関関係等を確認し、被保険者台帳事務所の照会等により補

資料④漢字符号化とさん孔紙テープ

したが、年々増加する裁定処理等に対処するためには非効率であり、また紙台帳そのものが戦前戦後の物資不足時代に作られたもので消耗が激しいことから、昭和45年から昭和52年にかけて磁気テープ化され、電子計算機で管理する原簿テープに順次収録されました。しかし、昭和29年4月1日以前の喪失者で昭和34年3月31日までに再取得和37年から電子計算組織による記録管理となりま

したが、台帳記号番号、事業所整理記号番号、生年月日などが相違するたためにデータが統合されない、また、喪失漏れ、取得漏れがあつて記録が繋がらないなど、いわゆる「事故記録」が大量に発生しています。こうした事故記録は、社会保険事務所の照会等により補正し再統合が行われまし

自治労国費評議会の「反合理化」と「身分移行闘争」

制度加入者や年金受給者の急増の中で、年金... 自治労国費評議会(現・全... 裁定に半年もかかること... ながら行政サービスの... 改善は、喫緊の課題とし... て国会をはじめ各方面か... ら指摘されていました。

制度加入者や年金受給の多数を組織していた自治労の急増の中で、年金... 自治労国費評議会(現・全... 裁定に半年もかかること... ながら行政サービスの... 改善は、喫緊の課題とし... て国会をはじめ各方面か... ら指摘されていました。

このため、データを中央に送付する方法ではなく、現場の社会保険事務... 磁気カードの個人化、記... ライン化が計画されま... した。年金相談として、... 手帳の統一などは絶対... 反対の方針を長らく掲... げ、機械導入後も極力使... 用しない方針を徹底する... など、記録整備に影響を... 与えてきたことは否定で... せん。

昭和36年に施行された国民年金制度は、加入、脱退や保険料徴収などの基本的な業務は市町村が行い、資格記録や保険料納付記録を社会保険事務所に送付し、社会保険事務所は「国民年金被保険者台帳」を作成し管理するものでした。

その後社会保険庁で資格記録を一体的に管理するため、昭和40年から被保険者台帳の内容を、き

昭和36年に施行された国民年金制度は、加入、脱退や保険料徴収などの基本的な業務は市町村が行い、資格記録や保険料納付記録を社会保険事務所に送付し、社会保険事務所は「国民年金被保険者台帳」を作成し管理するものでした。

その後社会保険庁で資格記録を一体的に管理するため、昭和40年から被保険者台帳の内容を、き

2 基礎年金番号の導入と過去記録の整理

公的年金は国民年金、厚生年金、船員保険、そのほか、平成12年... 地方分権一括法の成立... 成・保管するなど実態と... いう台帳については、一... 的な読みかたを入力した... と言われています。さら... ました。なお、国民年金... の全国オンライン化は昭

公的年金は国民年金、厚生年金、船員保険、そのほか、平成12年... 地方分権一括法の成立... 成・保管するなど実態と... いう台帳については、一... 的な読みかたを入力した... と言われています。さら... ました。なお、国民年金... の全国オンライン化は昭

公的年金は国民年金、厚生年金、船員保険、そのほか、平成12年... 地方分権一括法の成立... 成・保管するなど実態と... いう台帳については、一... 的な読みかたを入力した... と言われています。さら... ました。なお、国民年金... の全国オンライン化は昭

公的年金は国民年金、厚生年金、船員保険、そのほか、平成12年... 地方分権一括法の成立... 成・保管するなど実態と... いう台帳については、一... 的な読みかたを入力した... と言われています。さら... ました。なお、国民年金... の全国オンライン化は昭

公的年金は国民年金、厚生年金、船員保険、そのほか、平成12年... 地方分権一括法の成立... 成・保管するなど実態と... いう台帳については、一... 的な読みかたを入力した... と言われています。さら... ました。なお、国民年金... の全国オンライン化は昭

公的年金は国民年金、厚生年金、船員保険、そのほか、平成12年... 地方分権一括法の成立... 成・保管するなど実態と... いう台帳については、一... 的な読みかたを入力した... と言われています。さら... ました。なお、国民年金... の全国オンライン化は昭

公的年金は国民年金、厚生年金、船員保険、そのほか、平成12年... 地方分権一括法の成立... 成・保管するなど実態と... いう台帳については、一... 的な読みかたを入力した... と言われています。さら... ました。なお、国民年金... の全国オンライン化は昭

3 検査委員会最終報告に対する基本的な考え方

検査委員会最終報告に... 97年の基礎年金番号導... 入時点では、約3億件の... 年金者の発生、制度の公... 平性・安定性が図れない... などの状況が生じていま

検査委員会最終報告に... 97年の基礎年金番号導... 入時点では、約3億件の... 年金者の発生、制度の公... 平性・安定性が図れない... などの状況が生じていま

検査委員会最終報告に... 97年の基礎年金番号導... 入時点では、約3億件の... 年金者の発生、制度の公... 平性・安定性が図れない... などの状況が生じていま

検査委員会最終報告に... 97年の基礎年金番号導... 入時点では、約3億件の... 年金者の発生、制度の公... 平性・安定性が図れない... などの状況が生じていま

検査委員会最終報告に... 97年の基礎年金番号導... 入時点では、約3億件の... 年金者の発生、制度の公... 平性・安定性が図れない... などの状況が生じていま

検査委員会最終報告に... 97年の基礎年金番号導... 入時点では、約3億件の... 年金者の発生、制度の公... 平性・安定性が図れない... などの状況が生じていま

検査委員会最終報告に... 97年の基礎年金番号導... 入時点では、約3億件の... 年金者の発生、制度の公... 平性・安定性が図れない... などの状況が生じていま

4 専門性と継続性が求められる業務運営

最終報告は、今後の教... 訓として、組織及び業務... の管理・運営に関して方... 針を明確に示すこと... にも留意改革・業務改革... 性の確保が基本とな... ります。そうした業務... 運営を競争入札したた... び業者や従業員が代わ... することを予想される民間委託に代わ... 託に代わって、国民の... ライバーや年金権が確... 保される、サービス拡充... ができるように、国... 民生活の格差と貧困が... 大なる中で、老後生活... 基礎となる公的年金の... 充を求め、国民の声を... すます強くなっていま... す。国の責任による制... と業務の運営は、安心... 安全の土台であると考え... ます。

最終報告は、今後の教... 訓として、組織及び業務... の管理・運営に関して方... 針を明確に示すこと... にも留意改革・業務改革... 性の確保が基本とな... ります。そうした業務... 運営を競争入札したた... び業者や従業員が代わ... 託に代わって、国民の... ライバーや年金権が確... 保される、サービス拡充... ができるように、国... 民生活の格差と貧困が... 大なる中で、老後生活... 基礎となる公的年金の... 充を求め、国民の声を... すます強くなっていま... す。国の責任による制... と業務の運営は、安心... 安全の土台であると考え... ます。

最終報告は、今後の教... 訓として、組織及び業務... の管理・運営に関して方... 針を明確に示すこと... にも留意改革・業務改革... 性の確保が基本とな... ります。そうした業務... 運営を競争入札したた... び業者や従業員が代わ... 託に代わって、国民の... ライバーや年金権が確... 保される、サービス拡充... ができるように、国... 民生活の格差と貧困が... 大なる中で、老後生活... 基礎となる公的年金の... 充を求め、国民の声を... すます強くなっていま... す。国の責任による制... と業務の運営は、安心... 安全の土台であると考え... ます。

最終報告は、今後の教... 訓として、組織及び業務... の管理・運営に関して方... 針を明確に示すこと... にも留意改革・業務改革... 性の確保が基本とな... ります。そうした業務... 運営を競争入札したた... び業者や従業員が代わ... 託に代わって、国民の... ライバーや年金権が確... 保される、サービス拡充... ができるように、国... 民生活の格差と貧困が... 大なる中で、老後生活... 基礎となる公的年金の... 充を求め、国民の声を... すます強くなっていま... す。国の責任による制... と業務の運営は、安心... 安全の土台であると考え... ます。

最終報告は、今後の教... 訓として、組織及び業務... の管理・運営に関して方... 針を明確に示すこと... にも留意改革・業務改革... 性の確保が基本とな... ります。そうした業務... 運営を競争入札したた... び業者や従業員が代わ... 託に代わって、国民の... ライバーや年金権が確... 保される、サービス拡充... ができるように、国... 民生活の格差と貧困が... 大なる中で、老後生活... 基礎となる公的年金の... 充を求め、国民の声を... すます強くなっていま... す。国の責任による制... と業務の運営は、安心... 安全の土台であると考え... ます。

最終報告は、今後の教... 訓として、組織及び業務... の管理・運営に関して方... 針を明確に示すこと... にも留意改革・業務改革... 性の確保が基本とな... ります。そうした業務... 運営を競争入札したた... び業者や従業員が代わ... 託に代わって、国民の... ライバーや年金権が確... 保される、サービス拡充... ができるように、国... 民生活の格差と貧困が... 大なる中で、老後生活... 基礎となる公的年金の... 充を求め、国民の声を... すます強くなっていま... す。国の責任による制... と業務の運営は、安心... 安全の土台であると考え... ます。

最終報告は、今後の教... 訓として、組織及び業務... の管理・運営に関して方... 針を明確に示すこと... にも留意改革・業務改革... 性の確保が基本とな... ります。そうした業務... 運営を競争入札したた... び業者や従業員が代わ... 託に代わって、国民の... ライバーや年金権が確... 保される、サービス拡充... ができるように、国... 民生活の格差と貧困が... 大なる中で、老後生活... 基礎となる公的年金の... 充を求め、国民の声を... すます強くなっていま... す。国の責任による制... と業務の運営は、安心... 安全の土台であると考え... ます。

5 重い歴代政府の責任

重い歴代政府の責任... 最終報告では、年金記... 録調整にかかると届出漏... れ、相談・裁定時の記録... 確認に時間を要するこ... と、などの問題が生じ... 制度が適正に運営され... ないというだけでなく、無... ての使命感、国民の信任

重い歴代政府の責任... 最終報告では、年金記... 録調整にかかると届出漏... れ、相談・裁定時の記録... 確認に時間を要するこ... と、などの問題が生じ... 制度が適正に運営され... ないというだけでなく、無... ての使命感、国民の信任

重い歴代政府の責任... 最終報告では、年金記... 録調整にかかると届出漏... れ、相談・裁定時の記録... 確認に時間を要するこ... と、などの問題が生じ... 制度が適正に運営され... ないというだけでなく、無... ての使命感、国民の信任

重い歴代政府の責任... 最終報告では、年金記... 録調整にかかると届出漏... れ、相談・裁定時の記録... 確認に時間を要するこ... と、などの問題が生じ... 制度が適正に運営され... ないというだけでなく、無... ての使命感、国民の信任

重い歴代政府の責任... 最終報告では、年金記... 録調整にかかると届出漏... れ、相談・裁定時の記録... 確認に時間を要するこ... と、などの問題が生じ... 制度が適正に運営され... ないというだけでなく、無... ての使命感、国民の信任

重い歴代政府の責任... 最終報告では、年金記... 録調整にかかると届出漏... れ、相談・裁定時の記録... 確認に時間を要するこ... と、などの問題が生じ... 制度が適正に運営され... ないというだけでなく、無... ての使命感、国民の信任

重い歴代政府の責任... 最終報告では、年金記... 録調整にかかると届出漏... れ、相談・裁定時の記録... 確認に時間を要するこ... と、などの問題が生じ... 制度が適正に運営され... ないというだけでなく、無... ての使命感、国民の信任

6 3年前の行政監察で把握されていた「宙に浮いた年金」

3年前の行政監察で把握... された「宙に浮いた年金」... 特に、最終報告が、年... 金記録の不備データが存... 在することの要因とし... て「コンピュータシス... テムの問題をあげると... も、過去の誤りの発生... 状況等を記録し、減少... を検討することが重要... あるが、社会保険庁は、

3年前の行政監察で把握... された「宙に浮いた年金」... 特に、最終報告が、年... 金記録の不備データが存... 在することの要因とし... て「コンピュータシス... テムの問題をあげると... も、過去の誤りの発生... 状況等を記録し、減少... を検討することが重要... あるが、社会保険庁は、

3年前の行政監察で把握... された「宙に浮いた年金」... 特に、最終報告が、年... 金記録の不備データが存... 在することの要因とし... て「コンピュータシス... テムの問題をあげると... も、過去の誤りの発生... 状況等を記録し、減少... を検討することが重要... あるが、社会保険庁は、

3年前の行政監察で把握... された「宙に浮いた年金」... 特に、最終報告が、年... 金記録の不備データが存... 在することの要因とし... て「コンピュータシス... テムの問題をあげると... も、過去の誤りの発生... 状況等を記録し、減少... を検討することが重要... あるが、社会保険庁は、

3年前の行政監察で把握... された「宙に浮いた年金」... 特に、最終報告が、年... 金記録の不備データが存... 在することの要因とし... て「コンピュータシス... テムの問題をあげると... も、過去の誤りの発生... 状況等を記録し、減少... を検討することが重要... あるが、社会保険庁は、

3年前の行政監察で把握... された「宙に浮いた年金」... 特に、最終報告が、年... 金記録の不備データが存... 在することの要因とし... て「コンピュータシス... テムの問題をあげると... も、過去の誤りの発生... 状況等を記録し、減少... を検討することが重要... あるが、社会保険庁は、

3年前の行政監察で把握... された「宙に浮いた年金」... 特に、最終報告が、年... 金記録の不備データが存... 在することの要因とし... て「コンピュータシス... テムの問題をあげると... も、過去の誤りの発生... 状況等を記録し、減少... を検討することが重要... あるが、社会保険庁は、



年金記録問題を報道する新聞各紙

記録の早期整備に全力

金庫生は、当該職員を... 国民の年金権確保... 記録の早期整備を求...

4 許されぬ保険料の着服・横領等

社会保険事務所や市町... 責任は重大なものがあ... 着服・横領問題が「消え...

1 「100年不安」と進む年金制度空洞化

平成16年の年金大改革... 「100年安心」を謳... 給付金不正受給なども指...

5 安心して暮らせる年金制度の確立に向けて

方針と、こうしたことを... 町村の責任の所在が極... 国、都道府県、市町...

3 最低保障年金制度の早期実現

公的年金制度は、人々... 民生の最低保障(ナン... 政府・厚生労働省は12...

2 「制度」と「組織」は一体で改革を

日本の年金制度は、保... 制度と組織は一体で... 最低保障年金制度は、...

社会保険庁長官 村瀬 清司 殿

2007年6月5日

全厚生労働組合 中央執行委員長 杉下 茂雄

年金記録の適正化等に関する申入書

日本年金機構法案をはじめとする社会保険庁「改革」関連法案が、今通常国会で審議されています。衆議院段階では、年金記録管理の適正化、国民の年金受給権保障に議論が集中しました。

年金制度は、制度ごとに番号をつけ記録管理を行っていた経過があるといえ、老後の命綱である公的年金において、記録管理の不備により受給権が侵害されることなどあってはならないと考えます。

記

- 1. 基本的事項について (1) 年金記録の適正化等に向けた全体計画を早期に明らかにすること。 (2) 年金記録の適正化等にあたっては、来庁者サービスなど業務に支障をきたさないよう、必要な予算及び人員など十分な体制を確保すること。 (3) 職員の健康管理及び安全対策を強化すること。 2. 具体的事項について (1) 全被保険者ならびに既裁定者に対し、ただちに納付履歴を送付し、確認を依頼すること。 (2) 社会保険庁の保有する特殊台帳等のマイクロフィルムや、市町村の保存する旧国民年金原簿と、オンラインデータとの全数照会を実施すること。 (3) 年金記録に関する特別相談体制を拡充し、被保険者等からの申し出にもとづき、事業所や市区町村に対する聞き取り調査等を行う特別チームを、全事務局・事務所に配置すること。 (4) 認知症等、自身で申し出ることが困難な国民の権利を保障するため、市区町村を通じ、民生委員の協力を求めるとともに、厚生労働省医政局等を通じ、全国の医療機関に協力を依頼すること。 (5) 誤って、自身の記録が第三者の記録に統合されたケースについて、その救済方法を早急に確立すること。 (6) 領収書等、証拠書類がない場合の、具体的な救済方法と第一線での事務手続きを早急に確立すること。 (7) 再裁定の対象となり時効が成立している受給者への対応について、事務手続きを早急に確立すること。 (8) 年金記録に関する政府公報を、ただちに、広範に実施すること。 (9) インターネットによる加入記録確認に必要なIDパスワードの発行体制を強化すること。 3. 年金記録相談体制の強化について (1) 電話相談、相談窓口の拡大、臨時窓口の設置等それぞれについて全体スケジュールを明らかにすること。 (2) 記録相談専用フリーダイヤルの広報を広範に行うこと。 (3) 実施にあたっては、必要な予算、人員等体制を確保すること。

町村の責任の所在が極めてあいまいにされてきた。②「社会保険」家という閉鎖的組織が構築され、かばいあつた体質があつたことなどを指摘しなければなりません。また、オンラインデータの改ざんによる職員の給付金不正受給なども指摘されています。3年前、国会議員等の年金個人情報「覗き見」問題が表面化しましたが、機械操作に必要な磁気カードの個人化に反対し続けてきた自治労団費評議会の...